

I〕 本日の集会の内容についてのご感想、ご意見

- いのししが群れを成して走り回る原野は、かつては稲が実り、牧草が茂っていたんですよ。星や、吹き抜ける風が、悲しくて、悲しくて、訴えてきました。
「国策に従ってやり、どちらも失敗した」「誰も責任をとらない」という言葉が重いですね。今のどの問題にも共通していますね。
「自分で考えて、いい物を作って、沢山でなくていいけど、もっと増やして、限られた土地の中で仲間と一緒にやっていきただけなんだ」という言葉は、日本中の国民の願いですよ。制作中の視点がしっかりして、こんないいものを作って下さったんですね。区長さんの記録と、国民の記録が出来、中学生に見せたいですね。集会でいろいろお話が聞けてよかったです。ありがとう。(M・Y)
- 放送で番組を視て、ぜひ制作者の話も聞きたいと参加しました。制作者の大森さんは、今は放送文化研究所で、戦前のNHKから戦後のNHKへの変わり目に関心を持ち、当時の文献を渉猟されているとのこと。その近況報告の中で、NHKには、国民のための放送をしようとするDNAと国家権力に奉仕する機関でいいとするDNAの相克の流れが続いているのではないかと、言われたのが印象深かった。私の専門とする生物学の進化論でも、長い時間を掛けた同じようなDNAの相克がみられるので、深く共感した。(H・S)
- 番組内容も、大森さんとの質疑も、大変勉強になりました。故郷を奪われる、故郷の歴史が断たれる、とはどういうことか、実感が湧いてきました。(無記名)
- かつて祖先たちがそこから水を引き水田を拓いた村の聖山「大姿」(おおのすがた)に祠を据える、その台座を背負って登る村人を追うカメラの映像が印象に残った。山の集落到に住む人々のふるさとする熱い思いを、よく掘り起こしたものだと感じ銘した。原発によって村の行く末を断たれたからこそ、表面に現れた村人たちの思いに他ならないと思った。40年代に村の酪農が全滅していくのは、ウイルス病としていたが、そうではなく、私の獣医学生時代の知見では、牛の血液に寄生する単細胞生物(原虫)の、赤血球破壊が原因のようだ。(K・K)
- そこに生きている人間の暮らしを描くことで、原発の被害に遭うことがどういうことかが深く認識された感じだ。(M・N)
- 制作者を囲むこのシリーズはリアルな思いが聞けていい。今回も大森さんの番組への意図、情熱、取材中に変わる興味の矛先などが聞けて感動した。ニュース現場の制作者の話も聞きたい。(無記名)
- 途中からの参加で、全部が見られず残念でした。国策の不条理、その上の犠牲が身に浸みてわかりかした。(A・N)
- 以前にBSプレミアムで視て、あらためてまた視ました。忘れていた感動場面が見られ

てよかったです。福島原発の後始末も出来ずに、何が再稼働だ、とあらためて腹がたちました。(S・A)

- 原発再稼働が次々と企まれている今、ぜひ多くの人に見て欲しい。再放送を望みます。(H・M)
- 再放送して欲しい番組だ。100 人の声なら「語る会」でも上げられそうではないか。全国の図書館、学校に子供たちの教材として置きたいものだ。(H・S)
- マンモスの済む太古から綿々と続いてきた生命の営みが、人間の世になり、現代に来て突然、その営みが立ち行かなくなる歴史の不条理を見る思いでした。(無記名)
- 水俣といい、沖縄、そして福島といいそこに住む人々の暮らしを断つ、そして思い出や記憶の中からも、消し去ってしまう、この不条理にいつも怒っています。この番組の本放送を見て、ぜひ制作者に遭いたいと思っていました。名も無き人々の暮らしの記憶を辿り、記録することは、放送ジャーナリズムの使命の一つでしょう。敬意を表します。(無記名)

Ⅱ] 今後の「放送を語る会」の企画や運営についてのご意見、ご要望

- 今日のようなフォーラムの内容でも、若者が参加できるように集会内容を工夫したいところですね(H・S)
- 「子供の貧困」問題、「女性の貧困」問題などもテーマにフォーラムを組んで欲しい。(H・M)
- いろいろ問題視されているニュースの政府寄り、報道現場で頑張っている制作者の話も聞きたい(無記名)